

ちょっと子どもたちに「安全」を小耳に



山口県教育委員会
 スクールガード・リーダー

吉本 興一 さん (東深川藤中/写真左)
 吉屋 徹雄 さん (東深川中山/写真右)

各地で児童生徒に対する犯罪や不審者の声かけ事案等が発生していることから、昨年4月、山口県において「地域ぐるみの学校安全体制整備事業におけるスクールガード・リーダー設置要項」が示されました。

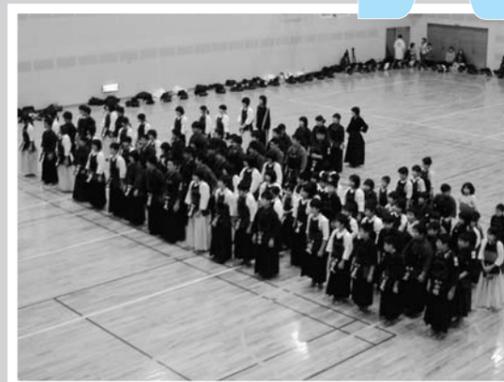
これにより、昨年9月に「山口県スクールガード・リーダー(YSGR)」として、長門市では私共2名が長門市教育委員会の推薦により県教育長の委嘱を受け、長門市全域と萩市の一部小・中学校36校を定期的に訪問し、子どもたちや教職員の方々に不審者に対する防犯教育や危機管理対策の指導・支援活動を行っています。

毎年春分の日にルネッサながとで開催される「錦兜争奪長門少年剣道大会」。県内でも一、二を争う大きな大会で、約800人の少年少女剣士が日頃の練習の成果を競いあいます。昭和47年、長門市武道館の設立記念として始まったこの「錦兜大会」は、地域のたくさんの方々の善意に支えられ、今年で35回を数えます。大会は長門剣道連盟が主催し、長門地域の剣道スポーツ少年団3団体(深川、仙崎、俵山)と、深川・仙崎中学校、大津・日置農業・萩工業高等学校剣道部員及びOB達の協力によって運営されています。



剣道は生涯現役で楽しめるスポーツです。小学生から80歳を越える大人まで、毎年数回、市内在住の剣士が一堂に会して同稽古会を行い、世代を越えたつながりを大切に活動しています。

地域で支える錦兜大会仲間たち



錦兜争奪長門少年剣道大会 副委員長
 長門剣道スポーツ少年団後援会 副会長
 上野 晶子 さん (西深川板持2区)

連絡帳 仙崎小学校



鯨唄・太鼓の取り組みを通して学んだこと

おき ひろや さん
 仙崎小学校6年/仙崎錦町

はくたち仙崎小学校の5、6年生は、昨年の11月の終わりで「総合的な学習」で捕鯨に関する学習をしてきました。その中でも特に力を入れて来たのが鯨唄です。そして、ぼくはその鯨唄の太鼓を務めてきました。ぼくが4年生になり鯨唄グループに入り初めて太鼓を叩いたとき、唄に合わせて叩けませんでした。でも、6年生の先輩がアドバイスをしてくれて、太鼓を叩くのがとても上手になりました。

そして、ぼくが初めての舞台で太鼓を叩いたとき、とても緊張して汗がたくさん出てきたことを覚えていますが、でも教えられたように叩くと、みんなの唄に合わせて叩けたのでよかったです。よくあそこまで叩けた



みす×七夕笹まつりでの披露

など自分でもびっくりしました。ほかにも仙崎の文化を受け継ぎ、よらいなどの山車飾りを作ったり、お年寄りの方々と交流などもしたりしてとてもふれあいの輪を深めることができました。それもこれもぼくが鯨唄グループに入らないとできなかった貴重な体験です。これから鯨唄で学習したことを忘れず立派な中学生になりたいです。

水産高校 連絡帳



いま船出のとき

たかまつ けいすけ さん
 高松 形丞 さん
 水産高等学校専攻科2年/油谷向津具下山崎

私は、3月に水産高校専攻科を卒業し、神戸市の船会社に機関士として就職することになりました。大型船の乗組員として、国内外を航海する仕事が夢で、いまその実現に向かって船出のときを迎えています。

私は、油谷湾の海に慣れ親しんで育ち、海が好きで水産高校に入學しました。本科3年生のとき、4級海技士免許の筆記試験に合格してからは、もっと大きな船の資格を取りたいと専攻科に進学しました。



ハワイ遠洋航海実習の様子

昨年、専攻科を卒業すると得られる3級海技士のさらに上の資格を目指そうと、2級海技士に挑戦しました。10月、九州運輸局で行われた定期試験で筆記合格しました。在学中に合格したのは、専攻科でも2人目だということ、自分で、自分に自信が持てるようになり、希望していた船会社への就職を決めることが出来ました。

これは、実務経験を積んで次の1級海技士に挑戦し、10年後に大型船舶の機関長になるのが夢です。いまは、内航船に配乗の予定なので、3か月に1回は長期休暇があり、長門市に帰ってゆったりできたらいいなと思っています。